

ベトナム・ダナン産婦人科小児科病院 最終報告

～「病院内の体系的な看護師・助産師教育プログラム導入プロジェクト」～

2014年7月及び11月に、第5回研修員として助産師長ら6名を、第6回研修員として6名をそれぞれ神戸に受け入れました。第5回受入研修では、「フィジカルアセスメント※（消化器）」を、第6回受入研修では「ガン治療への心理的ケア」を研修テーマにしました。

2014年9月には第7回の専門家派遣を、2015年2月には、最終となる第8回専門家派遣を行い、それぞれ直近の神戸での受入研修のフォローアップを行いました。

最終の専門家派遣では、ダナン産婦人科小児科病院によるプロジェクト成果報告会が行われ、3年間のまとめの報告が行われました。

看護師・助産師の質の向上により、患者さんからのクレーム件数が激減しただけでなく、以前は医師から指示されたことだけをこなしていた看護師が、フィジカルアセスメントにより患者の急性虫垂炎を早期に発見するなど、自らの工夫により医師を助ける事例も見受けられたことなどが報告されました。

最後に、専門家の方々によるダナン市人民委員会（保健局・外務局）への表敬訪問をしました。ダナン市人民委員会からは、本プロジェクトに対する高い評価をいただき、さらに、今後ベトナム自身の努力により本プロジェクトの効果を市内の他の病院へ普及することについて意欲的であることが確認できました。



<プロジェクト成果報告会>



<ダナン人民委員会表敬訪問>

※フィジカルアセスメントとは、問診、身体診査、検査などによって患者の身体的変化の徴候をいち早く察知し、総合的に評価すること。